

投資家・株主のみなさまへ

# 第64期中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



S.ISHIMITSU & CO.,LTD.



石光商事株式会社

証券コード:2750

## 株主のみなさまへ

To Our Shareholders

# わたしたちは国境を越えて 「食」文化を創造します。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第64期中間期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めるとともに収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長  
森本 茂

## 目 次

株主のみなさまへ	1
事業の概況	2
部門別概況	3
中間連結財務諸表	5
中間個別財務諸表要旨(参考)	7
業績ハイライト	8
会社情報	9

当中間期におけるわが国経済は、各種経済対策および金融政策への期待感により、円安・株高が進行し景気回復の動きが見られたものの、欧米の財政問題および新興国経済の減速などが引き続き景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、消費者の節約志向および低価格志向が続いていることに加え、円安による原材料価格の高騰により、厳しい経営環境が続きました。

また、コーヒー業界におきましても、コーヒー生豆相場が緩やかな下落傾向にあるものの、為替相場の影響等もあり先行き不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である売上高500億円をめざす新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業拡大として「新規事業・新商品開発」「新規顧客開拓」

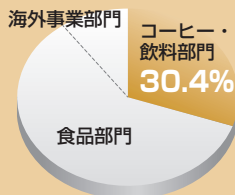
「海外事業」に取り組んでおります。

その結果、当中間期における売上高は16,686百万円(前年同期比1.7%増加)となりました。利益面につきましては、売上高の増加および売上総利益率の上昇等により、営業利益は124百万円(前年同期比105.9%増加)、経常利益は54百万円(前年同期は45百万円の経常損失)となりました。また、中間純損失は15百万円(前年同期は80百万円の中間純損失)となりました。



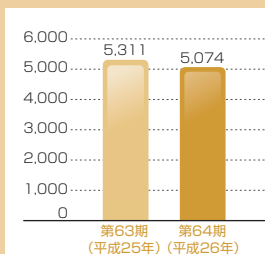
## コーヒー・飲料部門

### 売上高構成比



### 売上高

(単位:百万円)



### 1 コーヒー生豆

コーヒー生豆のニューヨーク市場価格は、需給緩和と生産国の通貨安の影響により緩やかに下落傾向が続いております。

販売袋数は前期と比べ減少いたしました。また、プレミアムコーヒーは順調に増加いたしました。また、外食産業およびコンビニエンスストアの新規開拓も行いましたが、コーヒー生豆相場の下落影響を受けて、コーヒー生豆の売上高は前年同期比17.0%減少いたしました。



### 2 コーヒー加工品

レギュラーコーヒーは、焙煎量およびコーヒーバッグの販売数量が順調に拡大いたしました。インスタントコーヒーは、為替相場の影響によりコスト高となりましたが、飲料メーカー向け原料および家庭用袋入製品が増加いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比11.6%増加いたしました。

### 3 飲料事業

茶類の売上高は、紅茶バルク商品が減少いたしました。緑茶・ウーロン茶バルク商品および穀物茶が順調に拡大いたしました。

飲料原料の売上高は、飲料メーカー向け原料の販売が伸び悩んだため、減少いたしました。

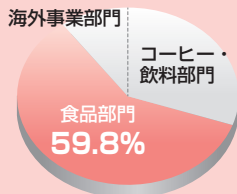
その結果、飲料事業の売上高は前年同期比6.8%増加いたしました。



これらの理由により、コーヒー・飲料部門の売上高は5,074百万円(前年同期比4.5%減少)となりました。

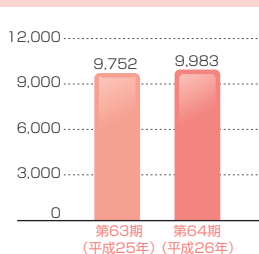
## 食品部門

## 売上高構成比



## 売上高

(単位:百万円)



## 1 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、コーン等の野菜加工缶詰が減少いたしましたが、引き続きミカン・桃等のフルーツ缶詰が好調に推移したため売上高は前年同期比8.0%増加いたしました。

イタリアからの輸入食品は、オリーブオイルが好調に推移いたしました。が、パスタのシェアアップが進まず、売上高は前年同期比8.2%減少いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比0.3%増加、冷凍食品の売上高は前年同期比2.3%減少いたしました。



## 2 水産および調理冷蔵

水産は、主力商品であるエビ加工品が、生産地での病害発生による市場の品不足状況のなか、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁が順調に進みました。また、主要顧客の取引も拡大することができました。その結果、売上高は前年同期比19.4%増加いたしました。

調理冷蔵は、タイ産チキンの入荷遅れのため代替品を販売したことによるコストアップ、その他の商品につきましては、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁が進まず低迷いたしました。その結果、売上高は前年同期比1.9%減少いたしました。

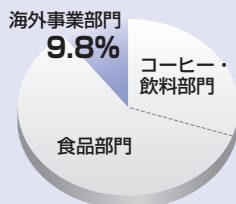
## 3 農産

農産は、外食チェーン店向けの加工品、食品メーカー向けのトマト原料、生鮮野菜の牛蒡は引き続き好調でしたが、レタス、梅および玉葱等は販売が伸び悩み、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁が進まず低迷いたしました。その結果、売上高は前年同期比5.2%減少いたしました。

これらの理由により、食品部門の売上高は9,983百万円(前年同期比2.4%増加)となりました。

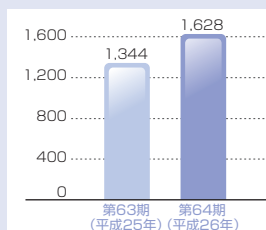
## 海外事業部門

## 売上高構成比



## 売上高

(単位:百万円)



輸出は、円安基調を背景に欧州・東南アジアの既存輸出先が順調に回復いたしました。また新規開拓、新商品の発掘および三国間貿易が業績に貢献したため、海外事業部門の売上高は1,628百万円(前年同期比21.1%増加)となりました。



# ○ 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	13,439	14,326
固定資産	5,778	6,176
有形固定資産	2,782	2,901
無形固定資産	49	68
投資その他の資産	2,947	3,206
繰延資産	4	8
資産合計	19,222	20,511
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	7,306	8,057
固定負債	4,611	5,122
負債合計	11,917	13,180
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,100	7,240
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,227	6,367
自己株式	△107	△107
その他の包括利益累計額	25	△83
その他有価証券評価差額金	50	12
繰延ヘッジ損益	△50	△95
為替換算調整勘定	26	0
少数株主持分	179	173
純資産合計	7,305	7,330
負債・純資産合計	19,222	20,511

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	16,686	16,408
売上原価	14,633	14,420
売上総利益	2,052	1,987
販売費及び一般管理費	1,928	1,927
営業利益	124	60
営業外収益	36	32
営業外費用	105	138
経常利益又は経常損失(△)	54	△45
特別利益	0	—
特別損失	0	1
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	54	△47
法人税、住民税及び事業税	19	15
法人税等調整額	57	23
少数株主損益調整前中間純損失(△)	△22	△85
少数株主損失(△)	△6	△5
中間純損失(△)	△15	△80

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△977	1,051
投資活動による キャッシュ・フロー	39	△41
財務活動による キャッシュ・フロー	649	△636
現金及び現金同等物に 係る換算差額	16	0
現金及び現金同等物の 増減額	△271	373
現金及び現金同等物の 期首残高	2,574	2,831
連結の範囲の変更に伴 う現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	—	39
現金及び現金同等物の 中間期末残高	2,302	3,244

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ホームページのご案内

<http://www.ishimitsu.co.jp/>

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



## 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成24年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	13,029	14,038
固定資産	3,254	3,200
有形固定資産	2,101	2,162
無形固定資産	37	55
投資その他の資産	1,116	983
繰延資産	4	8
資産合計	16,289	17,247
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	7,259	8,037
固定負債	4,306	4,758
負債合計	11,565	12,796
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	4,748	4,544
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,875	3,671
自己株式	△107	△107
評価・換算差額等	△24	△92
その他有価証券評価差額金	25	3
繰延ヘッジ損益	△50	△95
純資産合計	4,723	4,451
負債・純資産合計	16,289	17,247

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前中間累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	16,519	16,260
売上原価	14,612	14,380
売上総利益	1,907	1,879
販売費及び一般管理費	1,770	1,812
営業利益	137	67
営業外収益	61	54
営業外費用	70	72
経常利益	128	48
特別利益	0	—
特別損失	—	0
税引前中間純利益	128	47
法人税、住民税及び事業税	14	12
法人税等調整額	63	34
中間純利益	49	1

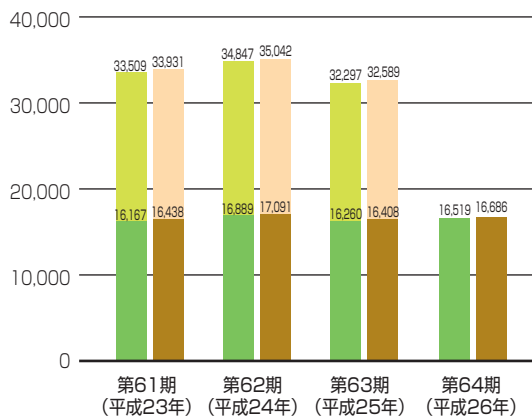
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 売上高

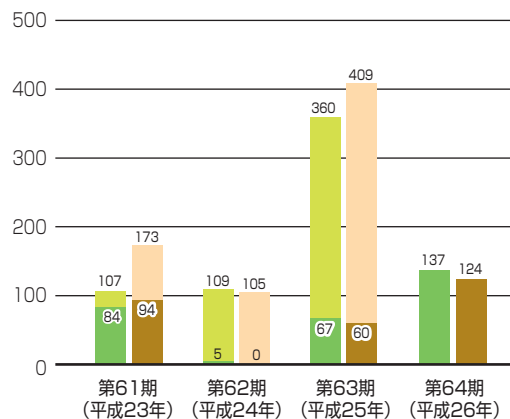
■ 個別期末  
■ 個別中間  
■ 連結期末  
■ 連結中間

(単位:百万円)



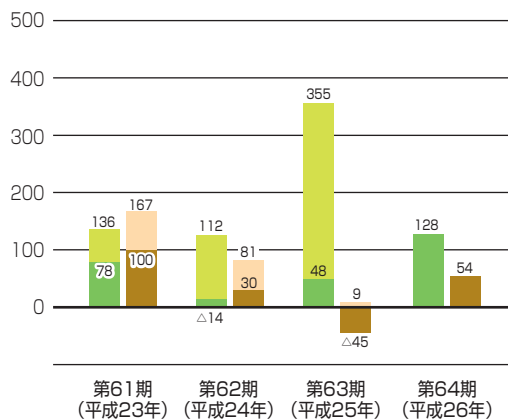
## 営業利益

(単位:百万円)



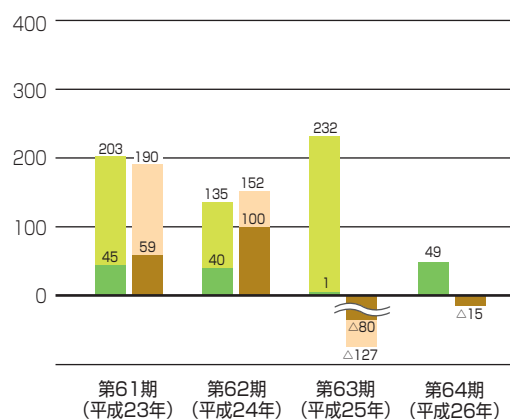
## 経常利益 (△損失)

(単位:百万円)



## 中間(当期)純利益 (△損失)

(単位:百万円)



## 会社の概要

会社設立 昭和26年5月  
 会社名 石光商事株式会社  
 資本金 62,320万円  
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号  
 従業員数 164名

## 役員

代表取締役社長 森本 茂  
 専務取締役 草場 鉄郎  
 常務取締役 山根 清文  
 取締役 上野 知成  
 取締役 中埜 晶夫  
 常勤監査役 山岸 公夫  
 監査役 樋口 進二  
 監査役 北川 誠

## 名誉会長

名誉会長 石光 輝男

## 株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株  
 ②発行済株式総数 8,000,000株  
 ③株主数 5,783名  
 ④大株主

株主名	持株数	持株比率
石光商事従業員持株会	367千株	4.8%
株式会社三井住友銀行	252	3.3
石光 輝男	238	3.1
駒澤 孝江	216	2.8
日米珈琲株式会社	204	2.6
株式会社トーホー	200	2.6
株式会社みなと銀行	194	2.5
丸紅株式会社	192	2.5
石光 輝信	179	2.3
石光 義幸	178	2.3

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(291千株)を控除して算出しております。

## 株式分布状況

所有者別	株主数	所有株数
金融機関	9名 ( 0.16%)	885千株 ( 11.07%)
金融商品取引業者	13名 ( 0.23%)	125千株 ( 1.57%)
その他の法人	39名 ( 0.67%)	882千株 ( 11.04%)
外国法人等	3名 ( 0.05%)	28千株 ( 0.36%)
個人・その他	5,719名 ( 98.89%)	6,077千株 ( 75.96%)
合計	5,783名 ( 100.00%)	8,000千株 ( 100.00%)

## グループ情報

## 石光商貿(上海)有限公司

中華人民共和国においてコーヒー生豆および食品の販売をしております。

## THAI ISHIMITSU CO., LTD.

タイ王国においてコーヒーおよび食品の販売をしております。

## 当 社

当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーン等に販売しております。



本社

- 本社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東京支店 東京都品川区南大井6-26-2
- 福岡支店 福岡市博多区博多駅南1-15-22
- 名古屋支店 名古屋市北区五反田町91
- 札幌支店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
- 物流センター 大阪市西淀川区福町1-2-24



## シカフェー(株)

当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。

## ユーエスフーズ(株)

コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。

東京アライドコーヒー  
ロースターズ(株)

コーヒー生豆の焙煎およびレギュラーコーヒーの加工販売をしております。

## 関西アライドコーヒーロースターズ(株)

コーヒー生豆の焙煎およびレギュラーコーヒー・インスタントコーヒーの加工販売をしております。

# S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel.0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html">http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しております。